

ペットではなく「私の目」

問合せ 障害者施策推進課事業計画係 ☎5984-4602 FAX 5984-1215

網膜色素変性症によって失明した磯村千夏さんは、鍼灸マッサージ師として自立した生活を送っています。そのそばにはいつも盲導犬(アイメイト)が寄り添ってきました。

私のアイメイトは、とにかく明るなお調子もの!
現在9歳の雄で、共にして7年目になります。褒めるとやる気を出してくれるので、ペアを組むための訓練もそれほど大変ではなかったです。彼が4頭目ですが、性格もみんな違って、本当に「十犬十色」だと思えます。



▲さっそうと歩く磯村さんとアイメイト

「生きた目」と一緒に歩きたい
白杖を使っていた20年前のことです。目の前を横切った高齢の女性が私の白杖に引っかかり、転んでしまったのです。どちらが悪いという状況ではありませんでした。ただ、私の目が見えていたならよけられたかもしれない。自分はもちろん周囲の人の安全のためにも、「生きた目」と一緒に歩きたいと強く思った決定的な出来事でした。

リラックスして歩けるように
白杖を使っていた頃は、白杖の先に触れた物が何かを判断したり、周囲の音を気にしたりと常に緊張しながら歩いていたので、1日が終わる頃にはとても疲れていました。アイメイトと歩くようになってから、一人で歩く恐怖心が消えて、リラックスして歩けるようになりました。



▲磯村さんの掛け声で、軽快に階段を下ります



▲横断歩道を渡るときも、息がぴったり!

少しのサポートで困難を乗り越える
目が見えなくても、問題はできる限り自分の力で解決したいと思っています。ごくまれにですが、過剰に手伝おうとする方がいます。でも、少しのサポートがあれば、困難なこともアイメイトと乗り越えられます。使用者とアイメイトは24時間一緒に過ごしていて、強い絆で結ばれています。

盲導犬(アイメイト)の認識が広がる社会へ
私の趣味は旅行なのですが、アイメイトと宿泊施設に訪れると、ペットと同じ扱いで食堂などに同伴できないときがあります。アイメイトは、静かに待つよう訓練されています。正しく理解していただき、「使用者の目」という認識がもっと広く社会に浸透してくれたらと思います。



加を希望する視覚障害者の存在です。いつでも、どこへでも、人の助けを借りずに出掛けられる。当たり前の日常を求めて、アイメイトを迎えます。使用者とアイメイトが、一心同体でかけがえないパートナーとして、共に生きる。そうした障害者の選択を尊重し、助け合える社会であってほしいと願います。

「当たり前」を尊重できる社会へ

関町北に施設を構え、盲導犬育成の先駆者として日本に大きな進歩をもたらした(公財)アイメイト協会代表理事・塩屋隆男さんに伺いました。

アイメイトは「私の愛する目の仲間」

国産の盲導犬第1号・チャンピイを育てた父・賢一が、昭和32年に当協会を創設しました。これまでに1,464組のペアが卒業しています。

盲導犬という言葉は、「盲人を導く賢い犬」という意味で受け取られがちです。しかし、実際は目的地までの指示を出すのは使用者で、犬は障害物をよけたり、段差などの情報を使用者に伝えたりしています。アイメイトを希望

する方には、4週間泊まり込みで歩行指導を行い、信頼関係を築いてもらいます。

視覚障害者と犬が共に協力し、安全な歩行を実現する。そうした関係を指して、当協会では盲導犬ではなくアイメイトと呼んでいます。アイメイトの「アイ」には「(私)」「愛」「EYE(目)」、「メイト」には文字通り「仲間」の意味が込められています。

社会参加を希望する障害者の存在を忘れないでほしい

人々の関心はかわいいアイメイトに向きがちです。しかし、忘れないでほしいのは、社会参

盲導犬を見掛けたら

Point
まずは温かく見守ろう!

盲導犬をじっと見つめたり触ったりすると、集中力を欠き事故につながります。盲導犬を見掛けたら、少し離れたところから見守ってください。

Point
声掛けは使用者に!

信号待ちの場面では、「青になりましたよ」などと教えてください。盲導犬は信号の色を識別することが難しいため、使用者が安全を判断し、盲導犬へ指示を出しています。



もっと知りたい方は、(公財)アイメイト協会ホームページをチェック!

視覚障害者へのサポートを学ぼう!

視覚障害者には、白杖などを使う人もいます。立ち止まって辺りを見渡したり、同じ道を行き来したりしているときは、困っている場合があります。次のようにサポートしましょう。

- ・声を掛けるときは正面から!
- ・話すときは指示語ではなく具体的に!
- ・とっさの声掛けは「危ない!」プラス一言!



障害によって必要なサポートはさまざまです

周囲の人たちの理解やサポートにより、解決できることはたくさんあります。ここでは、今からできるサポートの一例を紹介します。

聴覚障害

聞こえづらさは人によって異なります。話すことが難しい人もいます。

周囲のサポート

コミュニケーションをとるときは、スマートフォンのメモ機能や紙を使いましょう。



知的障害

複雑な会話や自分の考えを伝えることが苦手です。

周囲のサポート

身ぶりなどで示しながら、分かりやすい言葉でゆっくり話しましょう。



精神障害・発達障害

対人関係で困ったり、落ち着きがなくなったりします。

周囲のサポート

混乱している様子のときは、穏やかな表情で声を掛けましょう。



肢体不自由

手や足を動かすことが難しいです。車いすに乗ったり、杖を使ったりする人もいます。

周囲のサポート

優先駐車場やバリアフリートイレの利用は控えましょう。



優先駐車場は正しく使いましょう

優先駐車場は、車いす使用者のための区画のほか、歩行が困難な高齢者や妊婦のためのスペースです。必要な方のため、利用を控えてください。



▲優先駐車場で使われるマーク例 ※デザインは駐車場により異なる場合があります。

12/9(月)から配布

リーフレット「『障害者差別解消法』を知っていますか?」

障害のある方に必要な配慮や差別に当たることについて紹介しています。▶**配布場所**:図書館(南大泉図書館分室を除く)、区民事務所(練馬を除く)、保健相談所、総合福祉事務所、障害者地域生活支援センター、障害者施策推進課(区役所西庁舎1階)など

区ホームページで公開中!



障害者週間の催し

問合せ 障害者施策推進課管理係 ☎5984-4598 FAX 5984-1215

12/5(木)~9(月)

障害理解に関するパネル展

▶日時:12月5日(木)~9日(月)午前8時45分~午後8時(5日は午前10時から。9日は午前11時まで)▶場所:区役所アトリウム

12/7(土)

障害者フェスティバル

福祉団体などによる作品展示やコンサート、障害者施設の自主製品などの販売を行います。▶日時:12月7日(土)午前10時~午後3時▶場所:光が丘区民センターなど

12/10(火)~13(金)

障害者ふれあい作品展

絵画やオブジェなどを展示します。▶日時:12月10日(火)~13日(金)午前8時30分~午後8時(13日は午後3時まで)▶場所:区役所アトリウム



手作り品販売市場「ねりいち」

障害者施設で作ったお菓子や雑貨などを販売します。▶問合せ:就労支援係 ☎5984-1387 FAX 5984-1215

場所	日時
大泉図書館	12/5(木)・12(日)11:00~13:30
光が丘IMA	12/6(金)11:00~14:00
ココネリ2階	12/16(月)~20(金)11:00~14:00